

## 第2回縄文遺跡群世界遺産専門家委員会 議事概要

日時：令和5年3月10日（金） 14時00分～16時30分

場所：フォーポイントバイシェラトン函館 カメリア I

出席委員：稲葉委員長、水ノ江委員、根岸委員、石崎委員、森委員、西村委員

出席者：文化庁文化資源活用課鈴木調査官  
縄文遺跡群世界遺産協議会広域委員・管理委員

概要：

1. 開会
2. 議題

(1) 世界遺産委員会決議勧告 b) への対応状況について【資料1】

事務局から説明後、委員からの事実確認について、各自治体から回答。

(2) 2021年度 縄文遺跡群経過観察年次報告書（案）について【資料2・3】

事務局から説明後、委員からの事実確認について、事務局及び協議会長から回答。

(3) 保存活用推進行動計画について【資料4】

事務局から説明後、委員から意見・助言。

- 気候変動、温暖化の影響への対策も必要になる。
- 遺跡の価値付けが昔の情報そのままでもいいのか心配。調査研究の進展に合わせ、戦略的・計画的に発掘調査を行い、新しい情報を出して保存と活用を進めていくことを検討していただきたい。
- 世界遺産センターの設置について、全体として至急やらないといけない。全ての構成資産を周遊してもらうため、世界遺産センターにおいて何を集中的に発信するのか考える必要がある。

(4) 各自治体における来訪者動向調査の現状について【資料5】

事務局から説明後、委員から意見・助言。

- 来訪者の属性、考古ファンなのか、何か他のことの中の一部として来たのかなど、調査項目を少し工夫するといいい。
- データの収集にあたり、構成資産のボランティアガイドに周知依頼することも有効だと思う。
- ボランティアガイドにも聞くなど、情報の取り方を工夫できるかと思う。
- 調査項目の満足度と理解度が一緒になっているため、分けた方がよい。回答は二者択一というよりは、「満足、やや満足、どちらでもない、やや不満、不満」というような5段階くらいにすると意味のある数字が取れると思う。

(5) 遺産影響評価の取組状況について（以降、非公開）

3. その他
4. 閉会

以上